

Kawasaki 逆輸入車：大人の購入術

インターナショナルモデル（逆輸入車）と特別限定モデルのオーダーを頂きますが、車両の手配が間に合わずに、お客様にご迷惑をかけてしまう場合が発生します。当店の過去の失敗と反省からその原因と対策を考えてみました。

① インターナショナルマーケットと国内市場のタイムラグ

日本では、学校やお役所、企業の年度替わりが3月/4月が一般的です。大型二輪車のメインマーケットの欧米では、9月/10月が年後替わりになります。日本とは、約半年（6ヶ月）のタイムラグが生れています。

欧米では、次年度 New モデルの発表時期が、9月～10月から始まります。気になるバイクを見つけたライダーは、10月～11月に開催されるモーターショーなどで現車をチェック。各モデルの情報を検討し12月にオーダーします。ドイツでは、12月クリスマス前後が最もバイクが売れるシーズンだそうです。そして翌年春には、ライダーのもとへお気に入りの New モデルが納車されます。インターナショナルモデル（逆輸入車）は、年間を通じ秋から生産が始まり、船積コンテナ船で、冬から夏にかけて世界各地のマーケットに供給されます。

さて、日本の国内市場では、3月/4月の年度替わりです。GW にバイクに乗る予定で、3月～4月から New モデルのオーダーが始まります。ストックに余裕のある国内モデルは納車できますが、インターナショナルモデルや台数限定モデルは、先行予約でいっぱいになり次回のロット待ちになったり、販売予定台数分の予約が入り販売終了になったりします。

インターナショナルモデル（逆輸入車）は、発表と発売の間のタイムラグが生じますので、在庫と納期の確認が大切です。2013年モデルは5月でほぼ完売状態でした。

② インターナショナルモデル（逆輸入車）の購入にはアクションが大切です。

同じKawasaki 車でも、国内モデルとは別流通です。区別して考えましょう。

気になるバイクを見つけたライダーなら、お店に行って New モデルをまずは確認、現車を跨いでフィット感を確かめてから、結論を出したいと思うのは、自然のアクションです。春になったら、お店に行ってみよう～と、そんな慎重な県民性が災いする場合があります。東京、大阪、名古屋、仙台の冬は、オフシーズンではありませんバイクに乗れる気象環境です。新潟で、逆輸入車をGW前にGETするには、春のオーダー間に合いません。逆輸入車は、オーダーの順番で受付、ロット単位で生産、船積されますので早めのアクションが最適な納車タイミングを獲得する手段になります。ドイツ流のバイクの買い方が、雪国新潟ではピッタリマッチして参考になります。夏はバイクの情報収集→秋はバイクの選定→冬に早めオーダー→春の納車を楽しみに待つ、まさに、大人の購入術！です。海外生産の日本車がどんどん増えていますので、このスタイルが数年後にはインターナショナルスタンダードになるのかもしれませんが。ご希望のバイクの生産予定や納車のタイミングなど、最新の情報ご提供いたします。お気軽にキティホークにご相談ください。



カワサキオートバイ専門店

KITTY HAWK

有限会社キティホーク

〒950-0914 新潟市紫竹山3-6-56

TEL 025-242-3303

FAX 025-242-3313

<http://www.kittyhawk.co.jp>